

コミュニティサイクルの取組等について

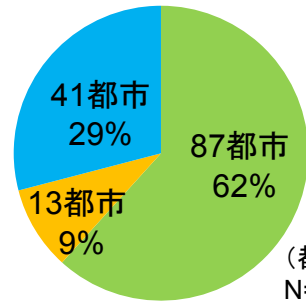
国土交通省 都市局
街路交通施設課
平成29年3月

コミュニティサイクルの取組動向

①全国の実施状況について

▶ 現在、コミュニティサイクルは87都市で本格導入されている。
(平成28年10月1日時点集計結果)

【コミュニティサイクル実施状況】

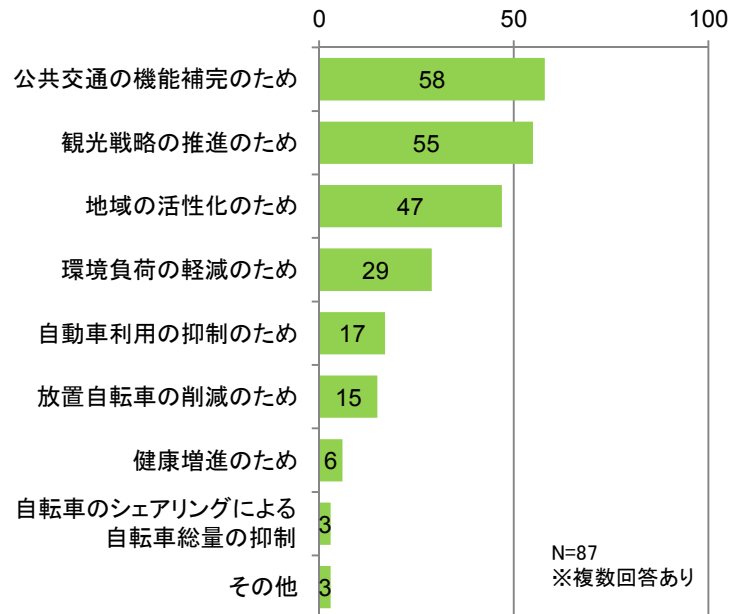


- 平成28年度にコミュニティサイクルを本格導入している(H28.10.1時点で実施)
- 平成28年度にコミュニティサイクルの社会実験を実施した(または実施中)
- 平成29年度にコミュニティサイクルの本格導入や社会実験を検討

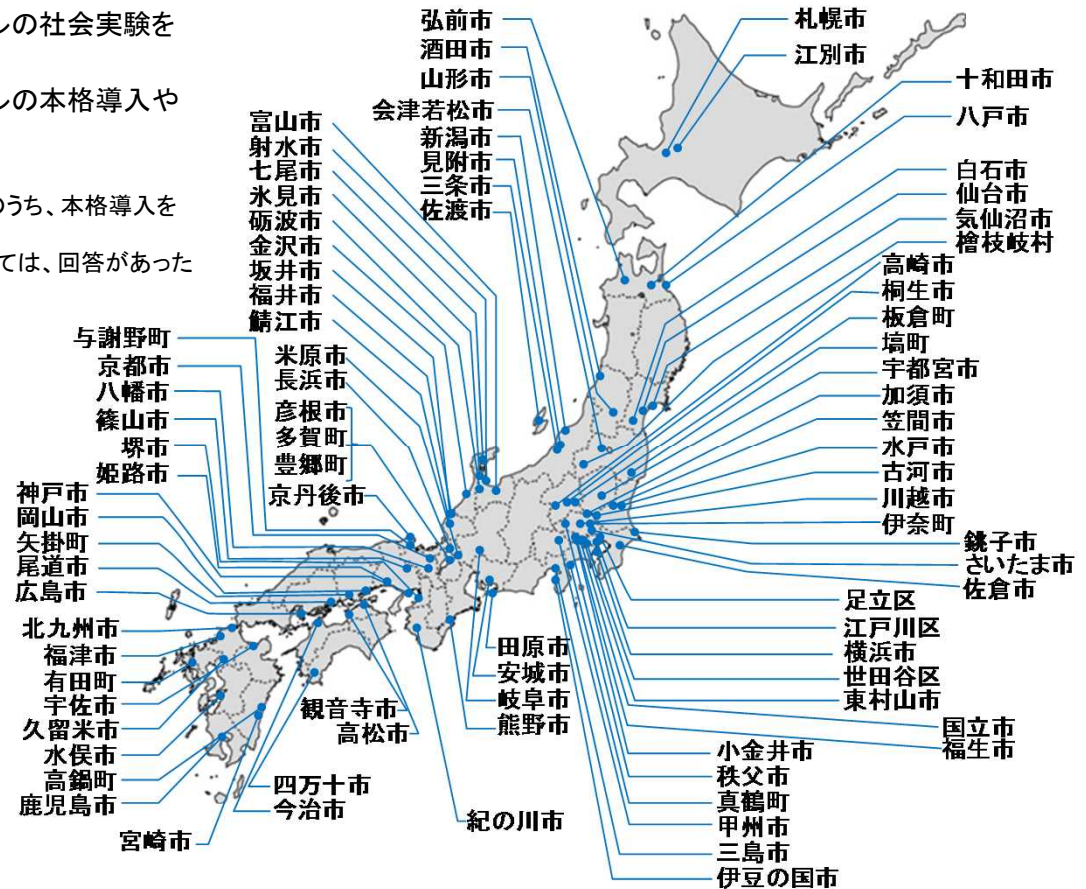
(都市数)
N=141都市

※平成28年10月1日時点
※アンケート回答自治体のうち、本格導入を図示
※民設民営の取組については、回答があった自治体名称を記載

【コミュニティサイクルの導入目的】



N=87
※複数回答あり



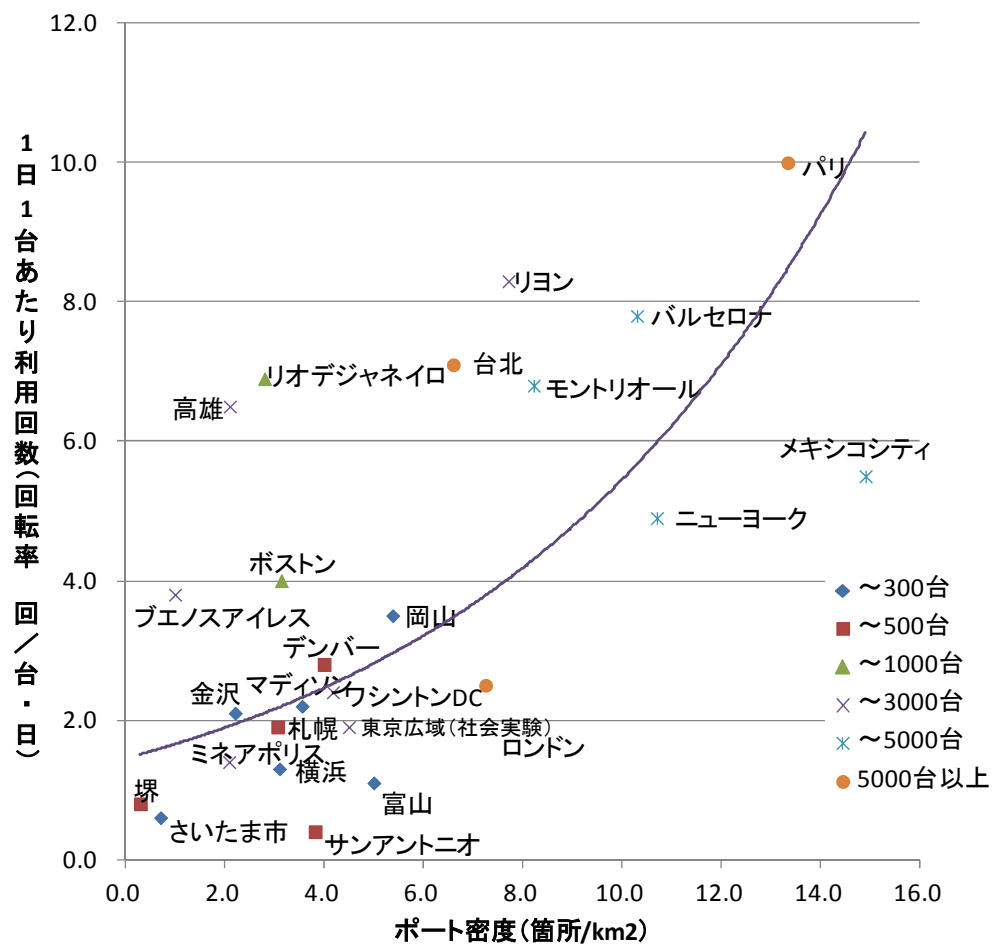
※H28年10月1日時点
※アンケート回答自治体のうち、本格導入を図示
※民設民営の取組については、回答があった自治体名称を記載

コミュニティサイクルの取組動向

②コミュニティサイクルの実施規模の比較

▶ ポート密度が高いほど1日1台あたりの利用回数（回転率）も高い傾向がみられる。

【ポート密度と回転率】



【国外におけるポート数と回転率】

	台数	ポート数	回転率
台北	7,363台	225箇所	7.1回/台・日
ロンドン	11,000台	744箇所	2.5回/台・日
バルセロナ	6,000台	420箇所	7.8回/台・日
パリ	23,900台	1,800箇所	10.0回/台・日
ニューヨーク	6,142台	469箇所	4.9回/台・日
モンリオール	5,200台	460箇所	6.8回/台・日
国内平均	171台	10箇所	0.7回/台・日

国外事例: 平成27年平均値 (* 台北・NYのみ平成27年4月~28年3月)

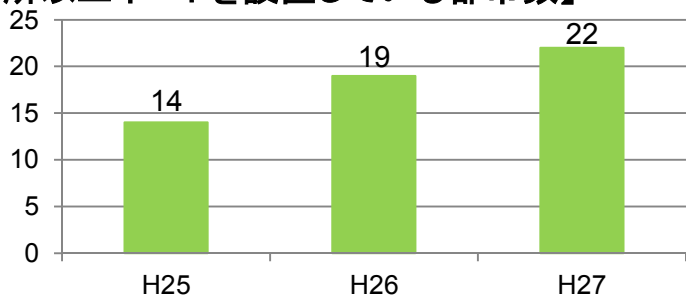
出典: The Bike Share Planning Guide (ITDP)
次世代交通研究 (日本交通計画協会)

コミュニティサイクルの取組動向

③利用率の向上に向けた取組(ポートの拡大)

▶ポート配置の工夫によるポートの確保や視認性を高める取組が必要。

【10箇所以上ポートを設置している都市数】



各年次の数値は各年度末(3/31)時点

【案内板の整備】



コミュニティサイクルのポートへの案内板
(金沢市金沢駅前)



コミュニティサイクルのポートへの案内板(高松市栗林公園駅前)

【ポート確保の工夫】



歩道上にデッドスペースに設置
(港区)



公開空地に設置
(横浜市)



公共施設(図書館)に設置
(金沢市)



コンビニエンスストアに設置
(中央区)



路外駐車場に設置
(港区)



大型ショッピングセンターに設置
(岡山市)

(参考)都市再生特別措置法の改正(H28.9)

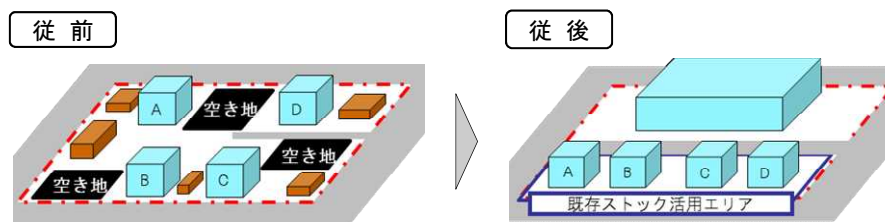
概要(抜粋)

都市再生特別措置法の改正によるコミュニティサイクルポート設置の促進

コンパクトで賑わいのあるまちづくり

【まちなかへの都市機能の効率的な誘導】

- 地域内に使える既存ストックがある場合にはそれを残しつつ、地域の身の丈にあった規模の市街地整備を可能とする手法の創設
- まちなか誘導施設の整備促進を図る地区の追加など市街地再開発事業の施行要件を見直し



身の丈にあった規模の市街地整備 (イメージ)

【官民連携によるまちの賑わい創出】

- 空き地・空き店舗を有効に活用するための市町村・まちづくり団体と土地所有者による協定制度の創設
- 賑わいの創出に寄与する施設(観光案内所、サイクルポート等)を都市公園の占用許可対象に追加



空き地を活用したまちなかの賑わいの創出 (イメージ)

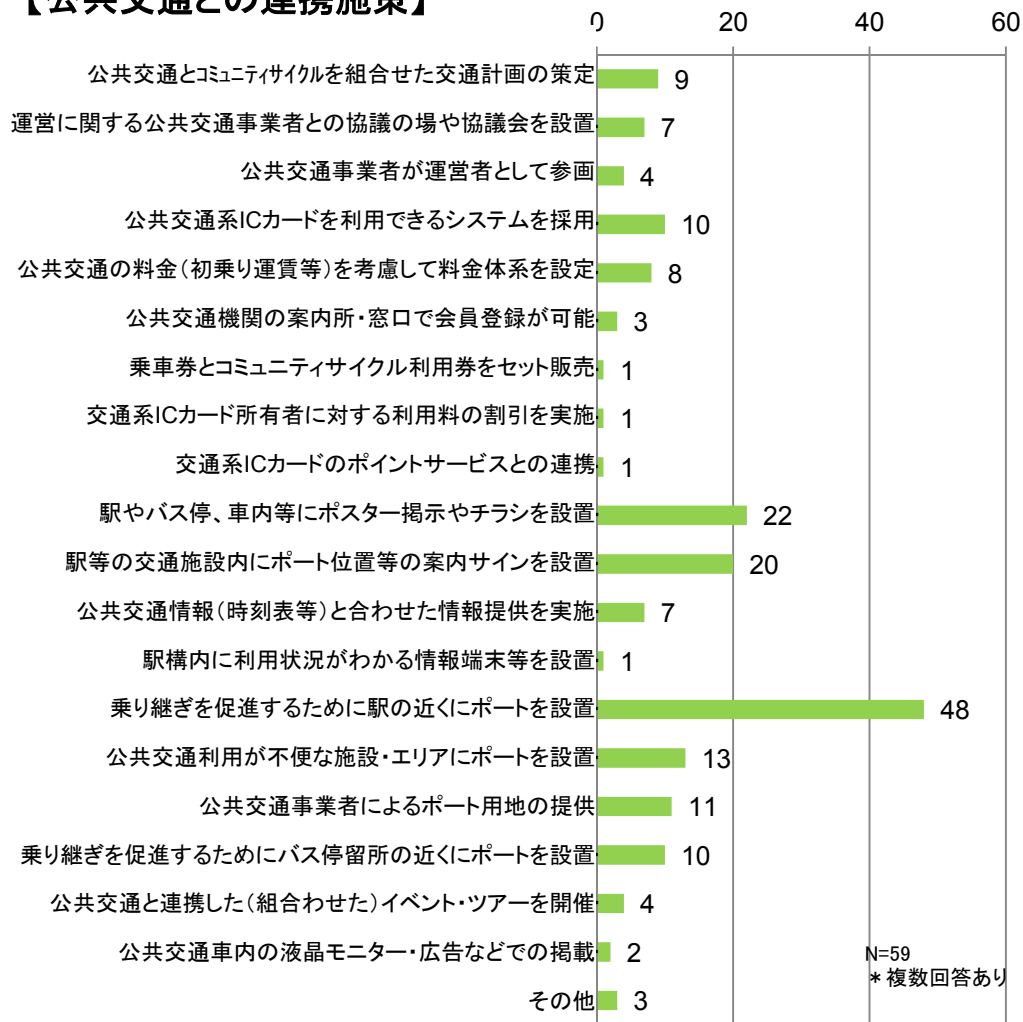


都市公園へのサイクルポート設置 (イメージ)

④利用率の向上に向けた取組(公共交通との連携)

- ▶公共交通との連携ではポートの設置に関するものが最も多い。
- ▶交通系ICカード利用や公共交通との一元的な情報提供等、公共交通事業者との連携・協力が必要。

【公共交通との連携施策】



○交通系ICカードの利用



交通系ICカードの利用(岡山市)

○電停に近接したポートの設置



電停に近接したポートの設置(富山市)

○情報提供



駅に設置された情報端末機(堺市)

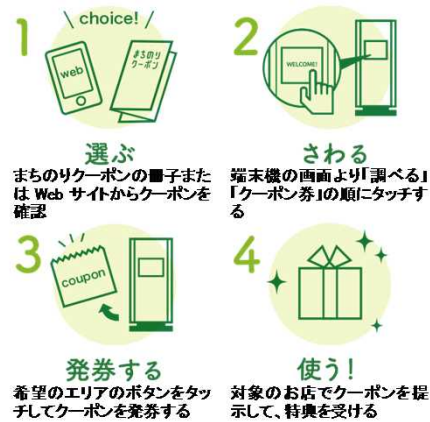


地下鉄出口案内にアイコンを設置(台北)

⑤利用率の向上に向けた取組(商店街等との連携)

▶ 利用者に対するクーポン割引やポイント還元など商店街との連携や、法人会員制度の導入など企業との連携により、利用の促進を図ることも考えられる。

【商店街等との連携】



コミュニティサイクルと地域店舗の連携(金沢市)

【企業との連携】

法人向けサービスのご案内
porocle

「ポロクル」は「サイクルシェア」と呼ばれる新しいタイプのレンタサイクルシステム。札幌の街中に置かれたポート(専用駐輪場)からポートへ自由に自転車の出し入れができる都府県コミュニティサイクルです。ビジネスシーンでもポロクルを活用して、業務効率向上とコスト削減を！

SAPPORO
Yamashiro

営業期間・時間
4月25日～10月31日
7:30～21:00
(運出は20:50まで)

法人料金プラン
法人向けサービスのご案内

たまに使うなら 従量プラン 162 円/1回 ※利用は2回以上	たくさん使うなら 定額プラン 3,240 円/1ヵ月 ※利用は2回以上
--	--

1回の利用が 10分を超えたら、超過料金は 308 円/20分

- ひと月にお一回以上使うなら定額プランがお得
- 従量プランと定額プランは、組み合わせでお申し込みOK
- 1枚のカードをオフィスの数までシェアOK

初期費用	登録手数料	1,080 円/1回
	ポロクルカード代	540 円/1枚
	カード配達料	432 円/1枚

第8回 カーフリーデー-高松協賛 タイアップ企画
その1 IruCaポイントキャンペーン 9/18(金)~9/20(日)

IruCa Pポイント 2倍

丸亀町商店街、ライオン通商店街
南新町商店街、常磐町商店街 では 5倍

その2 9/20(日) 限定 IruCaポイント 100

IruCaで電車・バスをご利用頂き、さらに IruCaで高松市レンタサイクルを借りた方には… プラス100ポイント



地域交通系ICカードの利用によるコミュニティサイクルと商店街の連携(高松市)

ポロクルの利用で営業活動の効率化とCO2 排出削減を実現!

環境にやさしい移動ができるポロクルで 営業活動を効率化できました。 社有車の削減でコストダウンも実現。

富士ゼロックス北海道株式会社 取締役 梅津修二様

ポロクルご利用MAP

ポロクル導入のきっかけは? 社有車の削減とCO2削減の観点から、社有車の削減とCO2削減の観点から、社有車の削減とCO2削減の観点から...

ポロクル導入後変わった点は? ポロクルは便利で動きやすいですし、駐輪場が狭い場所でも社有車を使っていたときにポロクルを、駐輪場の確保が容易で、社有車の削減とCO2削減の観点から...

法人会員制度の導入による企業との連携(札幌市)

コミュニティサイクルの取組動向

⑥持続可能な運営に向けた取組

- 持続可能な運営のため、情報提供による利用促進の取組や、車体広告の導入などの事業外収入の確保を進めることも必要。
- 運営コストの低減を図るため、再配置頻度の抑制やメンテナンスコストを低減するなどの取組が考えられる。

【再配置頻度の抑制】

- ・利用が集中するポートでは自転車を効率的に収納できるゲート式ポートの導入等により、再配置頻度を抑制。



ゲート式ポートの導入(左:さいたま市 右:堺市)

【車体広告の導入】

- ・ドレスガード(後輪カバー)等に広告を掲載。



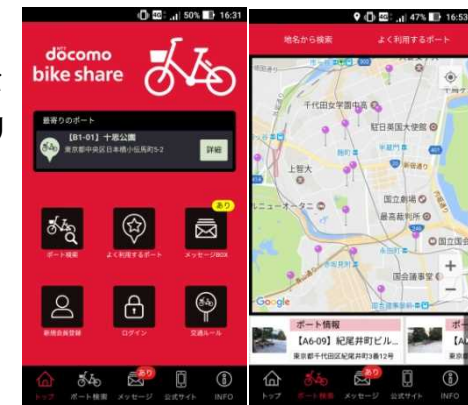
鹿児島市「かごりん」の事例



東京(実証実験)の事例

【アプリの開発】

- ・ポートの場所や貸出可能台数が把握できるアプリの開発・導入。

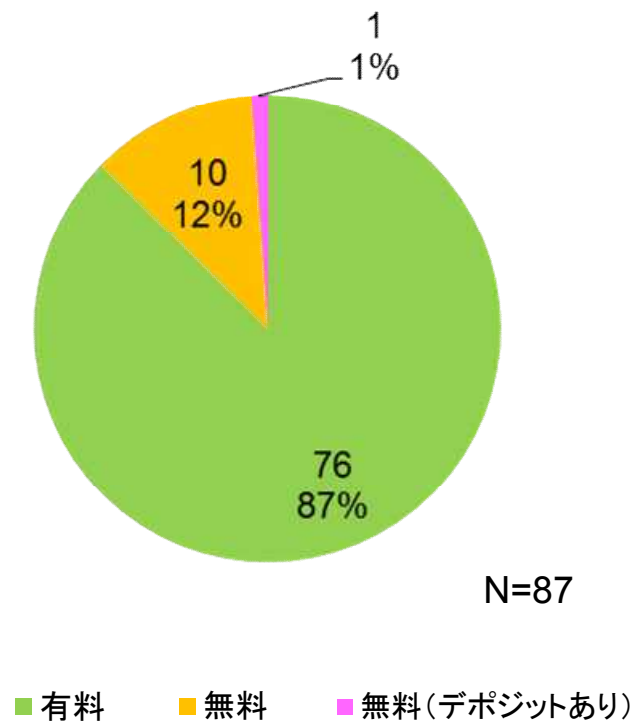


東京の事例(ドコモ・バイクシェア)

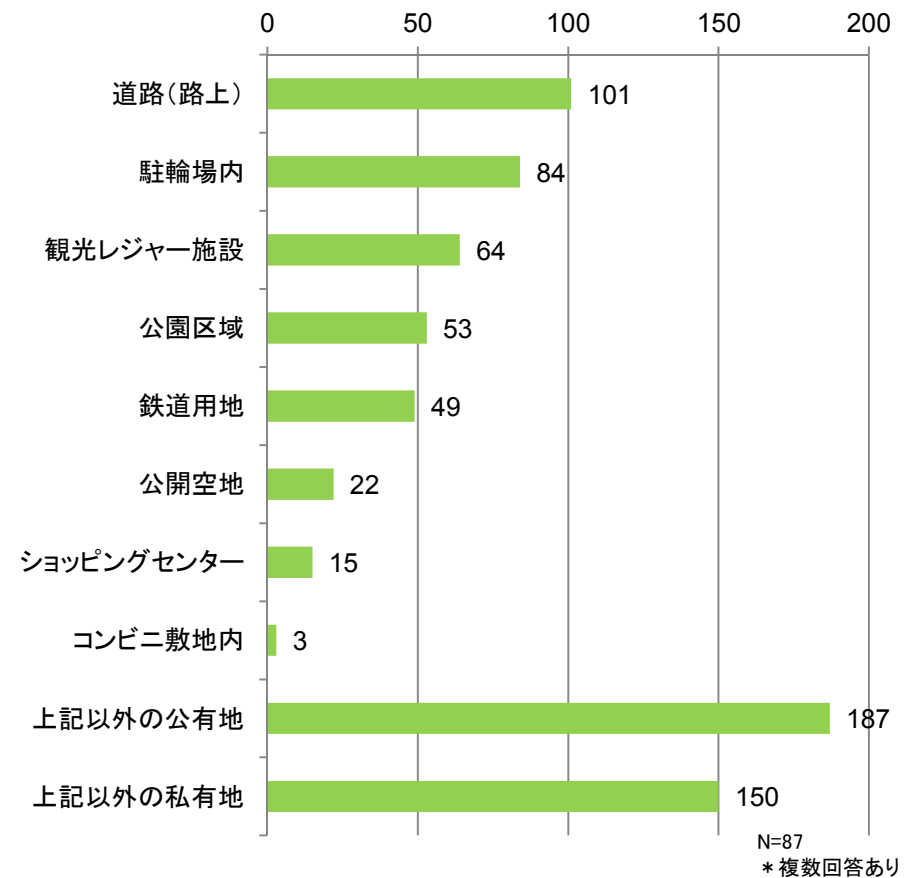
1) コミュニティサイクルの運営方法

➤ ポートは道路や公開空地、商業施設等様々な場所に設置されている。

【料金】



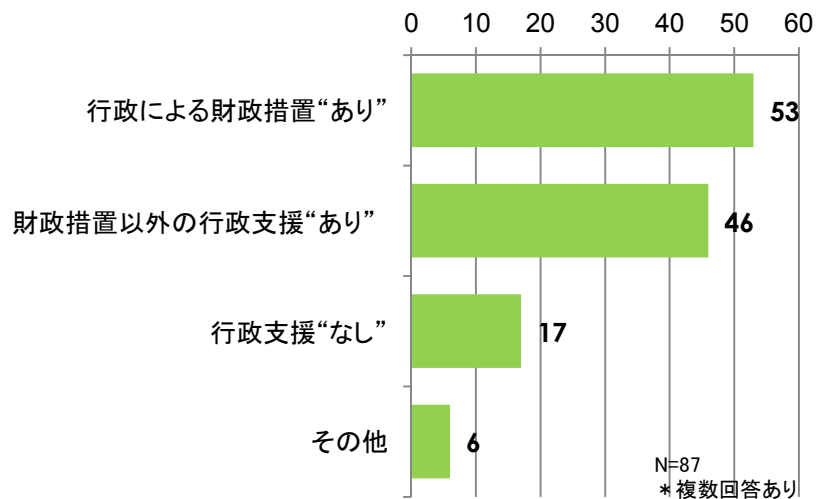
【ポート設置場所】



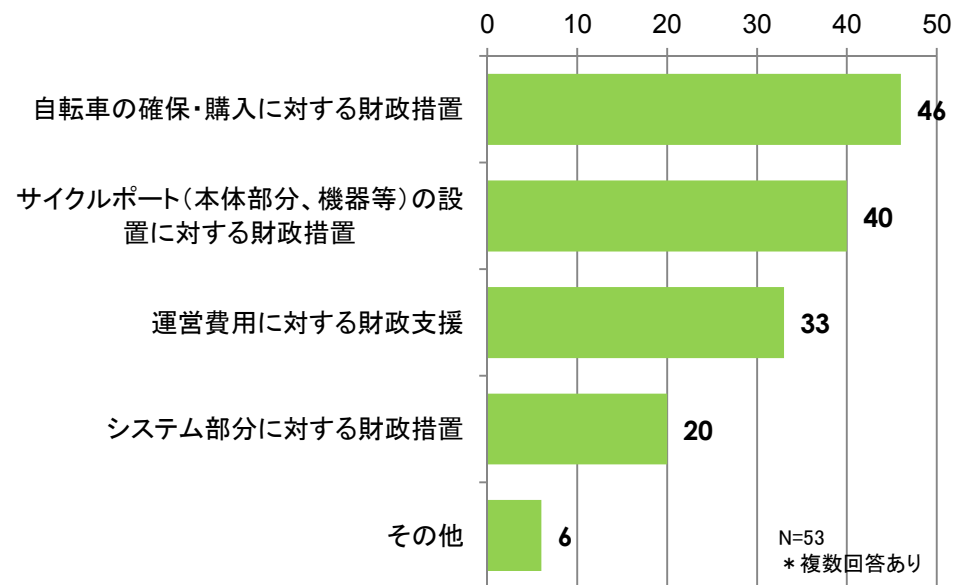
2) コミュニティサイクルへの行政による取組状況

- 約6割の事業において、行政による財政措置が行われている。
- 財政措置の内容としては、施設整備やサイクルポートの設置、運営費用等となっている。

【行政の関わりの有無と内容】



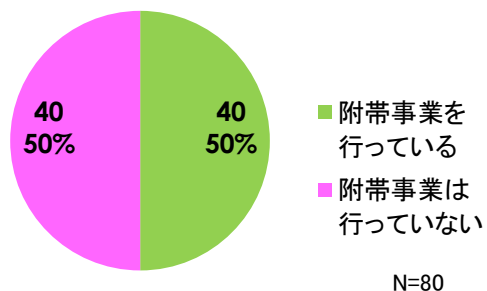
【行政による財政措置の内容】



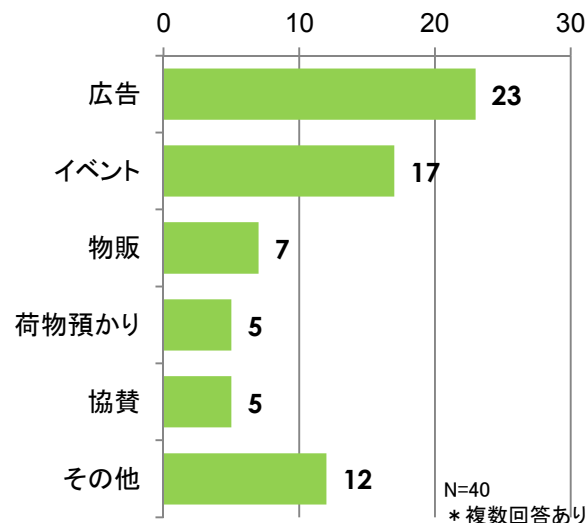
3) 附帯事業及びPR等の実施状況

- 附帯事業は約半数の都市で実施している。
- 利用促進のPRや広報ではホテルや観光案内所、タウン誌等での掲載などが多くなっている。

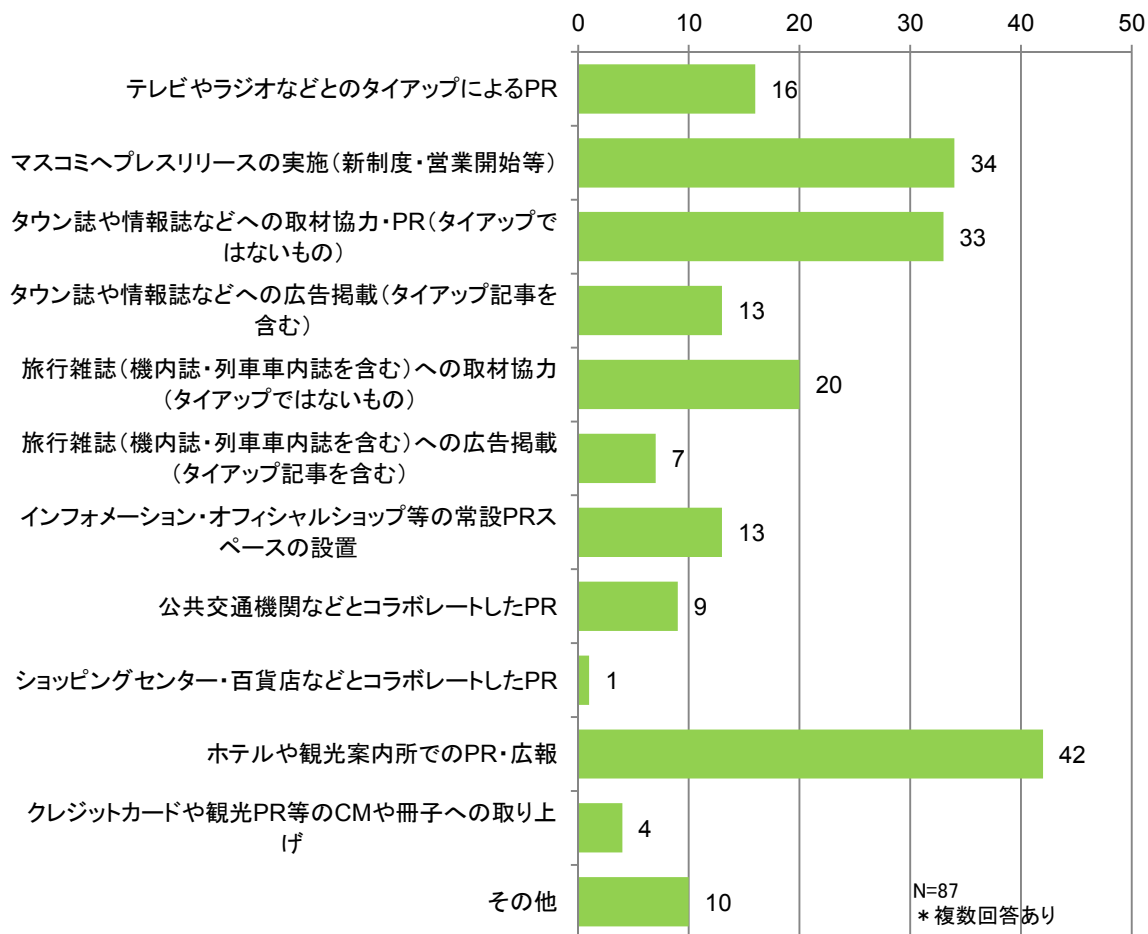
【附帯事業の実施】



【附帯事業の実施状況】



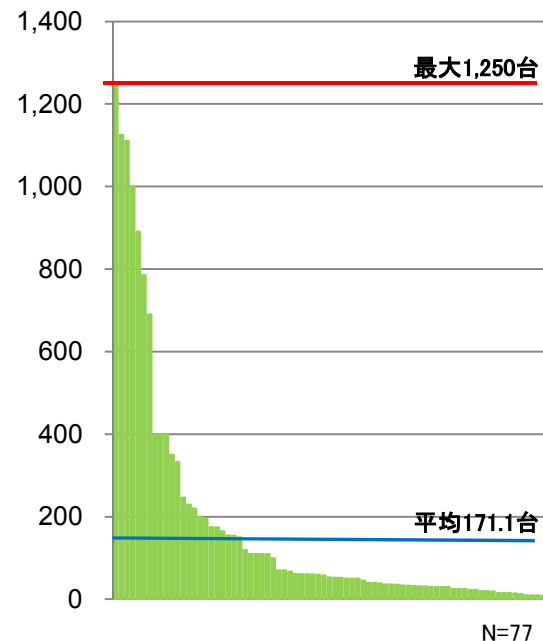
【利用促進PR・広報の実施状況】



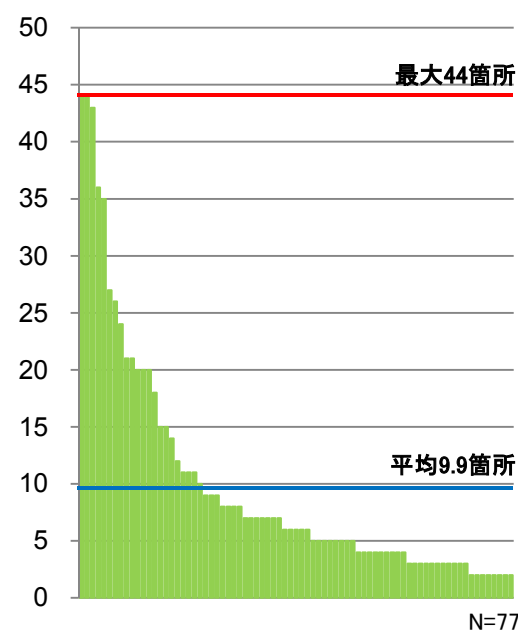
4) コミュニティサイクルの実施規模

- 自転車の平均台数は約171台、最大は1,250台である。
- ポート数の平均は約10箇所、最大は44箇所である。
- ポート1箇所あたりの自転車台数の平均は約23台/箇所、最大約278台/箇所である。

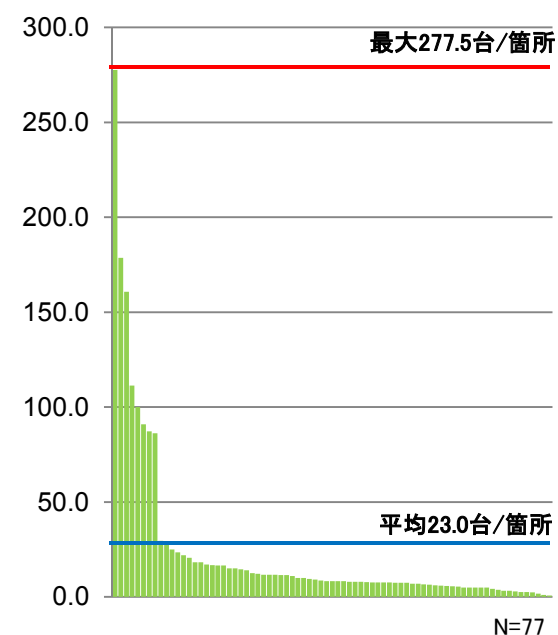
【自転車台数】
(台)



【ポート数】
(箇所)



【ポートあたり自転車台数】
(台/箇所)

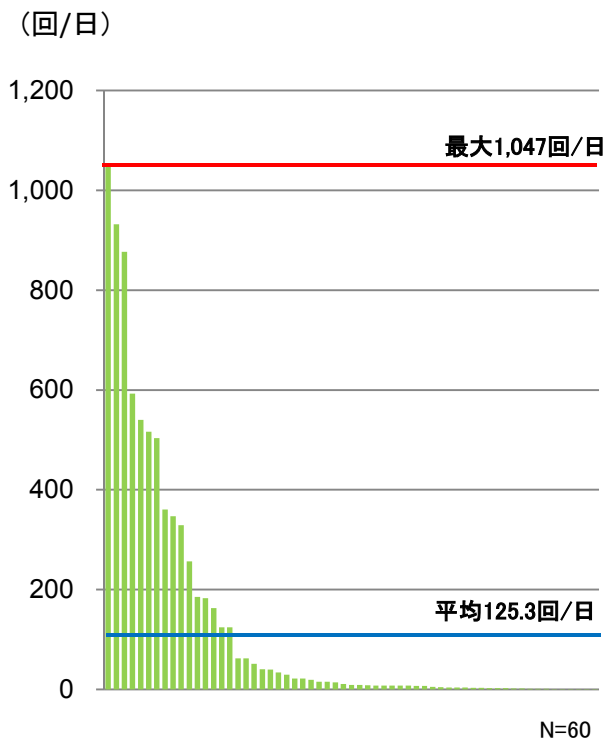


グラフは平成27年度末時点

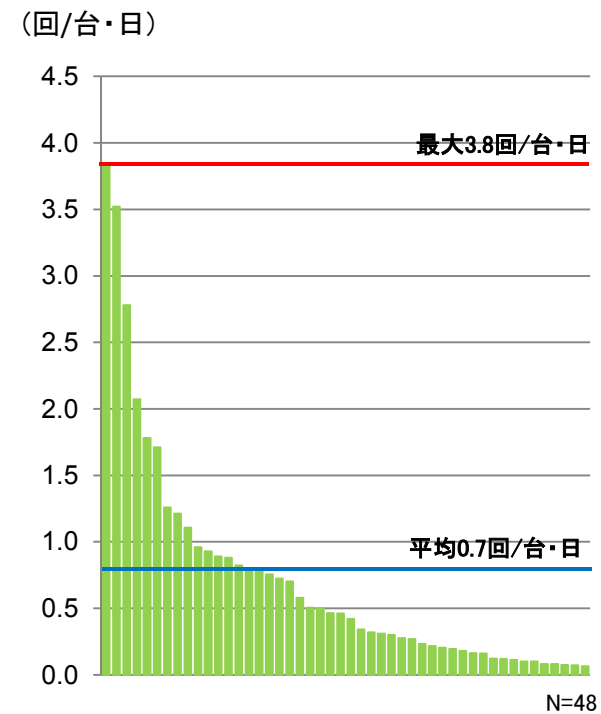
5) コミュニティサイクルの利用状況

- 1日あたりの利用回数の平均は約125回/日、最大は1,047回/日となっている。
- 回転率の平均は約0.7回/台・日、最大は約3.8回/台・日となっている。

【日平均利用回数】



【回転率】



グラフは平成27年度末時点